

学校法人 北海道キリスト教学園

認定こども園 名寄幼稚園

Ⅰ.自己評価結果公表シート 2023年

1. 本園の教育理念・教育目標

本園の教育理念

キリスト教の信仰に基づき、子ども一人ひとりが大切にされる保育を行い、
神と人と自然を愛する子どもを目指します。

本園の教育目標

- 1.神様に愛されていることを信じ、安心してのびのび育つ子ども。
- 2.お互いの違いを認め合い、共に生き、平和をつくりだす子ども。
- 3.失敗をおそれず、いろいろなことにチャレンジする子ども。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本年度は、10月に北私幼道北ブロックの教育研究大会があり、コロナ前に行っていたリサイクル素材
による素材遊びを各年次にと入れた保育を行う。この活動を通して、各年次の保育を高めることを目指
す。

3. 評価目標の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程編成・実施に関し て、教職間の共通理解を図り、全員保 育を推進する。	新教育要領の基本理念に鑑み、本園のキリスト教育の使命 の推進が肝要との認識を深め合う。理念のみならず、具体的 な実践の場での展開について話し合い、実践を行う。
教育の質の向上、連携強化のために、 園内研修を継続して実施する。 積極的に園外研修に参加する。	キリスト教保育の原点理解に努め、宗教主任による「聖書 研究」を継続して行う。 毎日の帰りの会では、担任による子どもたちの動向報告、園 児個別の問題点を共有し合う。会の最後には一日を神に感謝 して職員が廻り番で祈りを担当する。 園外研修に積極的に参加して、情報収集し学び、保育を担当 する者としての理念やモラル向上を図る。

<p>幼少連携、異年齢交流、地域交流について、具体的な推進を図る</p>	<p>幼小連携については、市内の小学校の式典参加、学芸発表会・参観等に参加。また登園行事(運動会・クリスマス会)への小学校教諭の出席を依頼する。</p> <p>卒園児の入学先の教諭との引き継も充実を図る。</p> <p>異年齢交流については、更なる活動の充実を目指す。</p> <p>市内中学生・近隣町村の中・高校生の職場体験も、積極的に受け入れる。</p> <p>老人施設等の交流は検討課題である。</p>
<p>保育者のニーズ、要望や苦情に適切に応えとともに、保護者との連携・協力を深める。</p>	<p>従来から、保護者との直接対話を大事に思っているが、連絡ノートも連携を深めるツールと思っている。</p> <p>「園だより」や各担任による「おたより」を発行し、報告や行事のねらいを伝えている。</p> <p>又、保護者が中心になって年1回刊の「たんぽぽ」は、保護者や職員の近況報告や雑記が連携に貢献している。</p> <p>ここ数年、cif(緊急連絡システム)を利用し、緊急時の連絡に生かしている。</p>
<p>幼稚園の情報公開に努める。</p>	<p>『自己点検・自己評価』につきましては、公開が出来ていなかった。2020年12月のホームページ更新に伴い、『自己点検・自己評価』を公開することが出来るようになった</p> <p>本園のホームページアドレス https://www.nayoro-kg.com</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>第三者評価としての学校評価については、実施していない。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理</p>	<p>当園は、新園舎新築時より、玄関の出入り管理を行っている。</p> <p>夜間警備は(株)ALSOKに依頼している。</p> <p>園庭の一部に採石が露出している箇所があったが、2020年夏に採石を除去。芝生を張った。安全面が向上しただけではなく景観も向上した。</p>
<p>特別支援</p>	<p>特別支援を必要とする園児が年々増加している。しかしながら、保護者の理解とずれが在るのが悩みである。その結果、グレーゾーンの子どもに加配が必要でも補助金申請できないケースが多いことも悩みである。</p>

預かり保育の体制強化	<p>保育料無償化に伴い、2号認定児や新2号認定児が急増している状況。働く保護者の支援になると感じてはいるが、園としては急に預かり保育の人数が増える状況への対応に追われている。新園舎建築当初予定していた預かり保育の園児数をはるかに上回り、ハード面でも対応が必要となっている。担当教諭の充実とプログラムの再検討をし、預かり保育を利用する子どもたちが、更に、安心して遊び、時間を過ごせるように図りたい。</p>
本園に対する保護者・地域住民の期待・要望について	<p>道北で最初に出来た幼稚園で99年目を迎える実績は信頼も高いと信じ、結果、入園園児数が増加となって表れていると思う。早朝・保育後の預かり保育も子育て支援として有効に活用されている。最近、2歳児・満3歳児の入園希望が多く、希望に応えきれない現状がある。</p>

6. 財政状況

<p>名寄市も、少子化がますます進行中ではあるが、2023年度も園児数に恵まれ、財政的には安定しており感謝している。</p>
--